



平成28年7月13日  
～美ら島の未来を拓く～  
内閣府沖縄総合事務局

## 陸上自衛隊及び関係機関との合同訓練にて危機時の石油輸送を強化

### ～美ら島レスキュー2016にて石油製品輸送の合同訓練を実施～

陸上自衛隊第15旅団、沖縄県、資源エネルギー庁等関係機関及び内閣府沖縄総合事務局は、防災訓練「美ら島レスキュー2016」において、沖縄出光株式会社の参加を得て、大規模地震・津波災害に備え、自衛隊ヘリコプターを活用し、避難所等で使用する民生用石油製品の輸送体制強化に向けた訓練を実施します。

#### 1. 背景とねらい

2011年3月の東日本大震災時には、地震と津波により石油製品のサプライチェーンが寸断され、各地で暖房用の灯油や避難移動のためのガソリン等が不足する事態が発生しました。

こうした経験を踏まえ、資源エネルギー庁は、災害時の燃料供給の確保に向けた官民による体制の確立を図るべく、陸上自衛隊等の関係機関と全国各地で災害時の燃料輸送に係る合同実働訓練を実施しています。

多くの島嶼からなる沖縄は、緊急時に通常の燃料供給ルートの代替となる方法が限定されるなど、地理的に燃料供給における脆弱性を抱えています。

陸上自衛隊主催の防災訓練「美ら島レスキュー2016」において沖縄県では初となる本格的な災害時の燃料輸送訓練を実施します。

なお、「美ら島レスキュー2016」は、沖縄県を始め、行政機関や市町村及び指定公共機関等が参加し、災害時における初動対応や初動対応以降の人命救助、インフラ復旧等の各種支援や調整の場面における図上訓練及び実働訓練を実施することで、関係機関相互の連携、災害対処能力の向上を図ることを目的としています。

#### 2. 訓練の概要

##### ■石油製品の輸送訓練

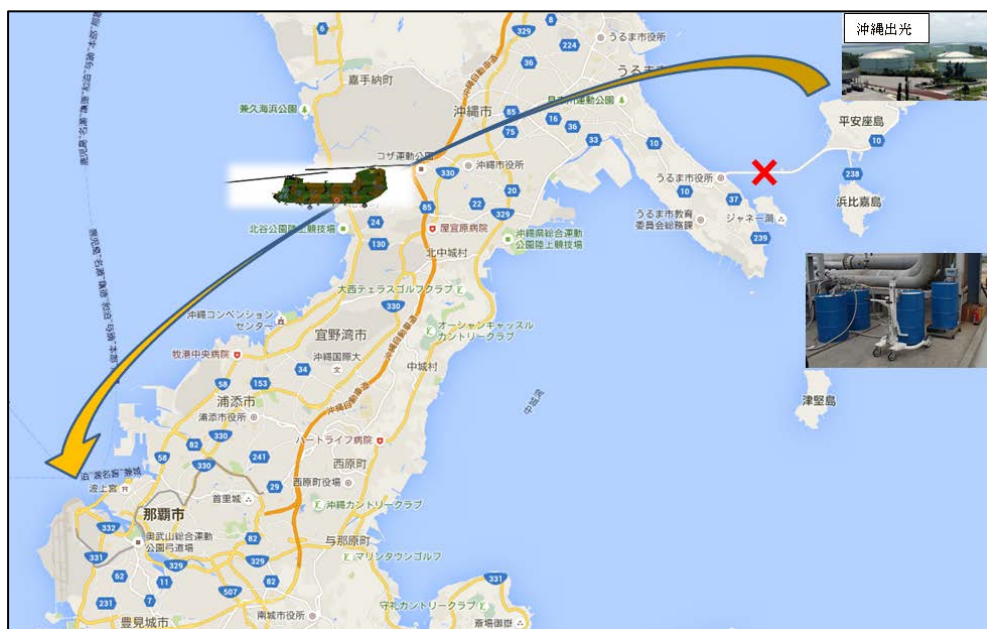
実施日：平成28年7月21日(木)13:00～15:00

場 所：①搭載地 うるま市平安座(沖縄出光株式会社)

②卸下地 陸上自衛隊那覇駐屯地 那覇訓練場

沖縄本島南東沖の琉球海溝内を震源とする大規模な地震・津波の発生後を想定し、沖縄出光株式会社(うるま市平安座)の施設を利用して以下の訓練を実施し、石油を確保・搬出する手順を訓練・確立します。

- (1) 沖縄県から総合防災拠点への緊急・救命用の石油製品の要請に対し、自衛隊輸送力でなければ輸送する事が出来ない限定的な場面(油槽所があるうるま市平安座へ通じる海中道路が津波により被災し、民間ローリー等の通行が出来ない場面)を想定し、油槽所(沖縄出光株式会社)にてドラム缶に充填した石油製品を、自衛隊ヘリコプターを活用して総合防災拠点へ輸送支援する訓練。
- (2) (1)により輸送されたドラム缶を指定場所(避難所近傍の空き地等)へ移送、集積する訓練。



(本発表資料のお問い合わせ先)

〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち2-1-1

那覇第2地方合同庁舎2号館

内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 石油・ガス課長 外間

担当者：徳門

電話：098-866-1756 (直通)

FAX：098-860-3710